

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	50	20	区の新たな課題即応事業費(障害者支援担当受付窓口における来庁者案内改善事業)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675250		高津区地域みまもり支援センター高齢・障害課		田邊	64614	

事業の概要										
事業の概要		障害者支援担当窓口における受付業務を円滑に行うため、来庁者呼び出し番号表示器を更新し、市民サービスの向上を図る。								
実施期間		事業開始年度 令和5年度		事業終了年度 令和5年度		予算中事業		区の新たな課題即応事業費		
地域の課題と現状		障害者に関する相談や自立支援医療(精神通院)の申請の増加、発達障害の社会的認知による相談の増加等により窓口での相談者が毎年増えており、一日平均100~140名の来庁者の対応を行っている。通常業務のほかにバス券等集中交付期間やストマ等の更新時期にはさらに多くの方が窓口に来庁するため、正確な順番待ちを示すことが必要となるが、番号表示器の不具合により表示器の番号の一部が表示されない状況となり、番号が分からなかった、見えないなどの苦情が発生していた。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		予決算
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
財源内訳	事業費			295	295					
	国庫支出金									
	市債									
	その他特財 一般財源			295	295					

計画 (Plan)	
事業の目的	障害者支援担当受付窓口における来庁者案内表示器を更新し、適切な窓口案内業務を執行する。
今年度の事業の取組内容	窓口呼出番号表示器一式を購入、設置する。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		令和5年8月29日、障害者支援担当受付窓口で番号呼出表示器一式を設置し、来庁者に対し正確な受付の順番を示すことで不要なトラブルを回避し円滑な窓口業務に繋がった。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	目標								
		実績								
	2	目標								
		実績								
	3	目標								
		実績								
	4	目標								
実績										

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		自立支援医療(精神通院)の申請や引きこもり、発達障害など障害全般に関する相談の増加に伴い、窓口案内の正確性が求められている。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		不具合が生じていた番号表示器により順番の呼び出し等が分かりにくい状況であったが、新たに番号券発券・表示器を購入し、来庁者に正しく案内表示が出来ていることを確認した。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	障害全般の相談が増加しており、正確な窓口案内のニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	不具合の改善された案内表示により、聴覚障害者などに対しても安心して案内することが出来た。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	年度途中で急遽、番号表示器の不具合が発生し修理の可能性も探したが修理不可能であったため、新規購入設置したため。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
		I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III 新たに番号表示器を設置し、番号が正確に表示された案内を来庁者に提供できており事業終了とする。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	50	05	区の新たな課題即応事業(武蔵溝ノ口駅南口利用者区役所案内表示改善事業)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671605		まちづくり推進部企画課		吉田	64123	

事業の概要										
事業の概要		武蔵溝ノ口駅南口周辺の公共サインについて、広告収入を活用しながら改善を進める。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区の新たな課題即応事業				
		令和5年度	令和5年度							
地域の課題と現状		高津区には、歴史・文化・自然など豊富な地域資源が存在するが、これらをつなげるための回遊ルートの設定と案内表示の整備及び情報発信が課題である。また、駅前等における既存公共サインは表示内容が古く、デザインが統一されていない等の課題がある。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費			1,544	1,544					
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
その他特財 一般財源				1,544	1,544					

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区内の歴史・文化・自然などの地域資源を結び付け、回遊性のある魅力的なまちづくりを推進する。
今年度の事業の取組内容	武蔵溝ノ口駅南口周辺の公共サインの改善、整備

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		溝ノ口駅南北自由通路及び周辺の公共サインについて、周辺施設の状況を踏まえ、利用者によりわかりやすいものとして更新した。								
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
		1			目標					
					実績					
		2			目標					
					実績					
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		公有財産の有効活用による公共サインの持続可能な維持管理の取組が全国的に進んできている。また、公共サインの多言語化についても継続的な取組が求められている。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	サインについては、多言語化等、社会環境の変化に応じた継続的な見直しが必要とされる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	公告により財源を独自に確保して安定して進めることができている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	公共サインの改善については、広告掲載事業社会実験の効果等を検証し、本格実施を実施している。今後は、当該事業の区内他地区への拡大等に向けて検討を進める。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	当該事業としては終了するが、引き続き地域資源を活かしたまちづくり推進事業の中で、公共サインにおける広告掲載事業の実施や事業の拡大等の更なる検討を進めていく。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	50	05	区の新たな課題即応事業(溝口駅北口ペDESTリアンデッキ滞留防止対策事業)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			676000		高津区役所道路公園センター 協働・利活用推進担当		谷口	74560	

事業の概要									
事業の概要		溝口駅北口ペDESTリアンデッキ上の、公衆電話と東急溝の口駅に降りる階段の間のデッドスペースにおいて、酒盛りによる騒音等の迷惑行為を防止し、安心・安全かつ快適な歩行空間を確保するため、フラットパネルを設置し滞留防止を図る。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区の新たな課題即応事業			
		令和5年度	令和5年度						
地域の課題と現状		溝口駅北口ペDESTリアンデッキ(キラリデッキ)上の特に交通量が多いJRと東急の駅間部分において、人が長時間滞留できるデッドスペースが存在しており、酒盛りなどの迷惑行為が発生しやすい状況となっている。現在は暫定的に鉄パイプにより対策しているが見栄えも悪く、市制100周年を迎えるにあたり、景観にも配慮した対策が必要となっている。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費			1,595		1,595			
		財源内訳	国庫支出金						
市債									
	その他特財								
	一般財源			1,595	1,595				

計画 (Plan)	
事業の目的	JRと東急の駅間のデッドスペースに滞留防止を図るとともに、安心・安全及び快適な歩行空間を確保する。
今年度の事業の取組内容	JRと東急の駅間のデッドスペースにフラットパネルを設置する。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	JRと東急の駅間のデッドスペースにフラットパネルを設置した。 また、総務企画局シティプロモーション推進室と連携し、市制100周年の周知シートの貼付場所として活用した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	目標						
		実績						
	2	目標						
		実績						
	3	目標						
		実績						
	4	目標						
実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	市制100周年を迎えるにあたり、多くの人が行き交う駅周辺では快適な歩行空間の確保が必要であるとともに、多様な手法で市制100周年を市民に広報する必要がある。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	滞留防止を図りつつ、見栄えが良くなり歩行空間の快適性に寄与している。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	当該地での滞留は防止できるとともに、周知シートの貼付けにより歩行空間の快適性の向上及び市制100周年の周知が図られた。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	単年度事業のため	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 電話ボックスの移設等、デッドスペースの解消に向け、引き続き調整を図る。		

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	50	20	区の新たな課題即応事業費(高津区災害対策本部保健衛生・福祉班執務環境整備事業)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			670000		危機管理担当		寺林	64354	

事業の概要									
事業の概要		災害時に高津区災害対策本部を迅速に立上げ災害対応を円滑に行うため、保健衛生・福祉班の執務環境を整備する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業					
		令和5年度	令和5年度	区の新たな課題即応事業費					
地域の課題と現状		当初、保健衛生・福祉班の執務スペースを5階に設定していたが、令和4年度に実施した訓練において、設定していたスペースでは面積が不足し、業務の遂行に支障があることが判明した。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費			871		871			
		財源内訳	国庫支出金						
市債									
その他特財 一般財源			871	871					

計画 (Plan)	
事業の目的	保健衛生・福祉班の活動の規模に応じた執務スペース及び通信等の環境を整備することで、区の災害対応力の向上を図る。
今年度の事業の取組内容	区役所2階健康相談室の工事(有線LAN及びWi-Fi環境の設置、電源コンセント増設) 備品調達(65インチモニター)

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った								
取組内容の実績等	3月10日に工事を実施、同日完了。 3月11日にモニター調達完了。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	目標								
		実績								
	2	目標								
		実績								
	3	目標								
		実績								
	4	目標								
実績										

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	全国各地で頻発する自然災害に対し、災害対策本部体制の確立、情報収集など、迅速な対応を行うことが求められている。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) R5 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	R4.10の保健衛生・福祉班訓練にて、当初の配置では班が活動するために必要なスペースが不足していることを確認、R5.10に再度実施した同訓練にて、2階健康相談室が十分な業務スペースを確保でき、区本部の活動が円滑にできることを確認した。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	昨今頻発する自然災害を受け、防災に関するニーズは高まっていると考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	保健衛生・福祉班として活動する総務・保健衛生・福祉の各グループが十分な人員を同室に配置でき、グループ間の情報連携を円滑に行えるようになった。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	訓練を重ねることで、新たな課題の発見とその課題の解決によってより効率的な災害対応が可能となることが考えられる。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 引き続き研修や訓練を行い、職員の熟度を上げるとともに、マニュアル整備等を進め区の災害対応力を強化していく。		